

令和6年度 第2回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 令和7年1月22日(水) 10時00分～11時20分

2. 開催場所 東金市役所 第1庁舎3階 第1委員会室

3. 出席者 出席23名(内、代理1名)、欠席5名、事務局6名

出席：鳥澤委員、仲田委員、小川委員、真行寺委員、三須委員、山口委員※、吉井委員、古川委員※、座古委員、宮川委員※、清宮委員、中村委員、土屋委員、高橋委員、今村委員、椎名委員、牛尾委員※、飛田委員、藤井委員、
縹莊委員(市民福祉部長)、鈴木委員(経済環境部長)、井坂委員(教育部長)

代理：南氏(千葉県交通計画課：伊藤委員の代理首席)

欠席：宇野委員、石井委員、子安委員、森田委員(東金警察署交通課長)、
神山委員(都市建設部長)

※：新規委員

事務局：子安企画政策部長、林地域振興課長、新谷地域振興課副課長、山崎公共交通係長
伊藤主任主事、岩田主事補

4. 会議次第

1 開 会 【進行：山崎係長】

・会議成立の報告

委員の過半数の出席(28名中23名出席)であり、東金市地域公共交通会議設置要綱
第7条第3項の規定により、会議が成立していることの報告

2 真行寺副会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介・・・委員名簿

4 議 事 【議長：真行寺副会長】

・議事案件・・・【説明：伊藤主任主事】

(1) 令和6年度(R5.10-R6.9)地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について【審議】
資料1

(2) 循環バス豊成路線のルート変更について【審議】 資料2

5. その他

6. 閉 会

(1) **令和6年度(R5.10-R6.9)地域内リーダー系統確保維持事業の事業評価について【審議】**

(事務局)

【資料1にて説明】 → 全員一致で承認

(高橋委員)

参考資料①の「目標・効果の達成状況」がC評価になっている理由は、目標値の50人に満たないからという事でよろしいか？

(事務局)

おっしゃる通り。

(委員)

仮にB評価とする場合やA評価とする場合の指標はいかがか？

(事務局)

実利用者数が40人台の場合はB評価、目標値の50人以上の場合は目標達成という事でA評価と考えている。

(委員)

・当局は、改善に向けた取組を行っているが、市民からは「予約が取りづらいという声」はまだ聞く。

当局は、予約キャンセル者への口頭注意をどのように行っているのか？

・1人あたりの予約回数の制限の検討内容について、詳しく知りたい。

(事務局)

・当日予約キャンセル常習者には、「本当に利用したい他の方が予約できなくなるため、予定をしっかりと決めてから予約をする」旨で注意を行っている。

(事務局)

・予約回数の制限については、当市は12回できるような仕組みになっているが、近隣の自治体では4回や6回という予約回数となっているので、当市でも同様の取組みを行いたいと考えている。

・そのような事を行った時に、本当に利用している方への影響がどのくらいあるのか分析をする必要があり、例えば、買い物なのか・通院なのかそのような分析を現在、行っているところでございます。適切な回数を今後決めていきたい所存です。

(委員)

・予約をした場合に、非効率な運行になっていることについては、話が来ているか？

(事務局)

事業者からのそのような話は上がっているため、システム会社と効率の良い運行ができるようにシステム調整を行っております。タクシー組合定例会においても「システム業者との打合せの場を設けていただきたい」とのご意見をいただいておりますので次年度以降はそのような場を設けていきたい所存です。

(委員)

・予約キャンセルの事ですが、パンフレットにおいては、少ししか書いていない。「予約キャンセルにより他の方へご迷惑が掛かってしまうこと」をもっとPRしたほうが良い

のではないか？

- ・ペナルティなどを設けるなどはできないのか？また、乗車拒否などはできないのか？
(事務局)
- ・窓口での登録時に、「他に利用したい方の迷惑が掛かってしまうため、キャンセルは体調不良などによるやむを得ない時を除き、しないこと」、「一般のタクシーと乗合タクシーの違い」などについて必ず説明を行っている。
- ・ペナルティについては、以前に事務局でも検討をし、運輸局へもご意見を伺い確認を行ったが、悪質な利用者であっても、「公共交通の観点から乗車拒否や利用制限をすることは厳しい」というような結果に至った。
- ・ペナルティが課せられないならば、「1人あたりの予約回数の制限」を行う事により、より多くの人へ行き届くようになるため、事務局はこの取り組みについて今後行ってきたいと考えている。

(委員)

- ・「朝の時間帯に電話が繋がらない。そして、1時間後に電話がようやく繋がったけど、予約の空きがなくて予約を取れない」というような声をよく聞く。そのような実態はどのようなになっているのか。また、このような現象は予約キャンセルの問題と関係があるのか？

(事務局)

- ・事務局でも把握はしているが、予約を乗りたい利用者は8：30分の予約開始の時間に合わせて一斉に予約センターに連絡をするため、8：30から1時間ほどは電話回線が込み合ってしまうことが原因であることが1つあります。
- ・予約キャンセル常習者の方々が朝の時間帯にとりあへず予約後にキャンセルをすることにより、「他に本当に利用したい方へ予約が行き届かない現象」が起きている。よって、そのような事を解決するために、「1人あたりの予約回数の制限」を事務局は行ってきたいと考えている。

(委員)

その取り組みはいつ行うのか？

(事務局)

先ほども説明した通り、現在は分析中となっているため、明確なスタート日はお伝え出来かねる。

(委員)

- ・東金は他の自治体と比較すると予約キャンセル数が非常に多い。事務局は、ようやく動いてくれたので、今後、実施に向けて取り組みをお願いしたい。
- ・特に当日予約キャンセルについては、キャンセルが出た後に、その部分がスポット化してしまうため、利用者人数も増えないし、稼働率も下がる。
- ・本来であれば、フィーダー系統の事業評価についても、「口頭注意」のみで済むのが理想だが、予約回数に制限をかけないといけないことは、東金市は非常に残念な事をしないといけないことを認識しないといけない。

- ・事務局がペナルティを検討したことについてお聞きしたが、他の事例では、キャンセル料を設けることを検討した自治体もあったが、その場合、キャンセル料をどのように回収するのか？仮に回収するためには人件費も発生するため、非常にハードルが高い。オンライン予約をしている自治体でもキャンセル料を取ろうとする仕組みを検討したが、やはり回収がネックになり、実施には至っていない。
- ・そのため、利用者の方には、公共のモラル（困っている方がいることを理解いただく）を理解していただくように事務局では周知をお願いしたい。
- ・東金市においては、民間の路線バス、循環バス、乗合タクシーと交通媒体が多い。よって、重複する部分も多いため、民間事業者を圧迫している現状がある。昨今では、2024問題でバス路線が減便→廃線という事が増えてきている中で、東金市においては、乗合タクシーがバスを利用できない高齢者の交通セーフティネットになると考えている。
- ・都内はオンラインへ移行している自治体も増えてきている。これは、スマホを使用できる世代が増えてきていることが影響している。都内では車を持っている方も少ないので、例えば、妊婦さんが急遽つけるようにするためなども視野に入れているところもある。
- ・そのようになってきた時に、まずは、「1人あたりの予約回数制限」を行うことで、幅広く利用者できるようになることを期待します。

（事務局）

委員におかれましては貴重なお話をありがとうございます。

先ほど担当からの説明や委員の皆様からもご意見をいただいている通り、幅広い方々が予約を取ることができるように、「1人あたりの予約回数の制限」をなるべく早く実現できるように取り組んでまいります。

(2) 循環バスの豊成路線のルート変更について【審議】

（事務局）

【資料2・3・4にて説明】 → 全員一致で承認

（委員）

この後行われる運賃協議会での議論の結果は委員に共有はなされるのか？

（事務局）

後日、郵送にて結果をお知らせする予定です。

（委員）

東金駅の東口改札の整備をこれから行うことになっているが、東口にバス停は設置する予定はないのか？

（事務局）

事務局でも視野に入れているが、東口の開設後の人流の変化などを見て、交通事業者と協議しながら検討していきたいと所存です。